

## 第一編 平成18年度の市町村税決算の概況



# 1. 市町村歳入と市町村税収入

## (1) 市町村税収入額の推移

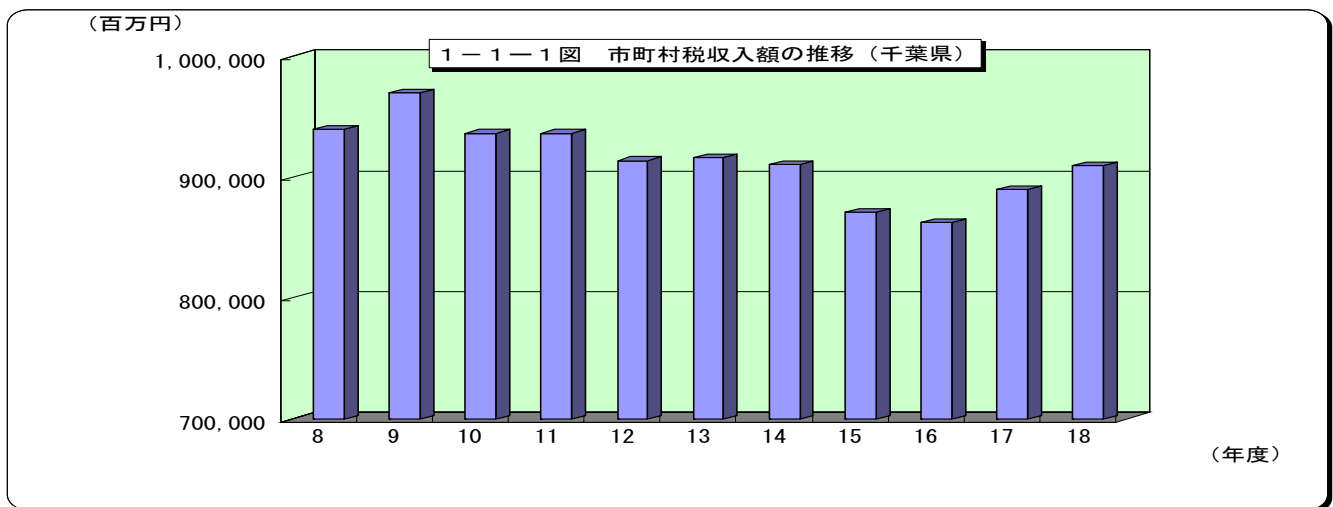
平成18年度の市町村税の収入額は9,095億円であり、前年度と比較して195億円(2.2%)増加した。  
 平成9年度(9,698億円)以降は、ほぼ毎年度低下の傾向にあったが、平成18年度は平成17年度に引き続き上昇し、ようやく平成14年度の水準に戻ってきている。

1-1-1表 市町村税収入額の推移

(単位:百万円、%)

年度	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
千葉県	税収入額A	939,905	969,843	936,608	936,327	914,139	916,556	910,608	871,421	862,704	890,003	909,510
	歳入総額B	1,789,801	1,792,587	1,845,812	1,892,464	1,797,515	1,832,155	1,807,724	1,819,446	1,816,688	1,815,238	1,800,714
	A/B (%)	52.5	54.1	50.7	49.5	50.9	50.0	50.4	47.9	47.5	49.0	50.5
全国	税収入額A	18,485,470	19,282,908	18,684,792	18,593,132	18,090,312	18,142,477	17,822,288	17,239,738	17,231,954	17,667,049	18,160,960
	歳入総額B	53,334,479	52,785,429	54,175,770	55,507,450	52,804,183	52,938,099	51,796,561	51,195,752	50,650,037	50,478,606	49,361,930
	A/B (%)	34.7	36.5	34.5	33.5	34.3	34.3	34.4	33.7	34.0	35.0	36.8

※全国の数値は「地方財政の状況(総務省)」より抜粋。



## (2) 歳入総額に占める市町村税収入額の割合

県内全市町村の平成18年度の歳入総額(1兆8,007億円)に占める市町村税収入額(9,095億円)の割合は、前年度より1.5ポイント増加し、50.5%となり、4年ぶりに50%を超えた。

これは、歳入総額は前年度と比較して145億円(0.8%)減少したものの、市町村税収入額は、前年度と比較して195億円(2.2%)増加したことによる。

なお、全国の歳入総額に占める市町村税の割合は、対前年度比で1.8ポイント増加したのに対し、本県の歳入総額に占める市町村税の割合は、対前年度比で1.5ポイント増加となっている。

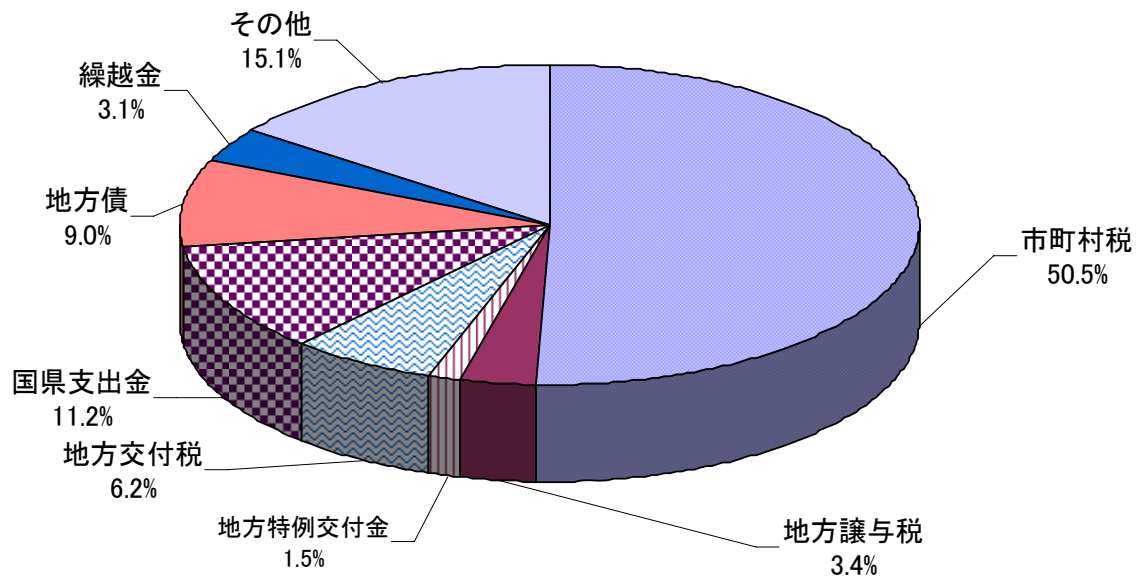
1-1-2表 市町村歳入の構成割合

(単位:百万円, %, ポイント)

年度	14年度		15年度		16年度		17年度		18年度			
	金額	構成割合	金額	構成割合	金額	構成割合	金額	構成割合 (A)	金額	構成割合 (B)	増減 (B)-(A)	
歳入内訳												
千葉県	市町村税	910,607	50.4	871,421	47.9	862,704	47.5	890,003	49.0	909,510	50.5	1.5
	地方譲与税	19,678	1.1	20,686	1.1	31,898	1.8	42,566	2.4	60,589	3.4	1.0
	地方特例交付金	34,562	1.9	34,047	1.9	33,129	1.8	33,084	1.8	27,167	1.5	△ 0.3
	地方交付税	156,116	8.6	138,573	7.6	122,180	6.7	124,764	6.9	111,903	6.2	△ 0.7
	国県支出金	191,020	10.6	157,204	8.6	155,151	8.5	208,838	11.5	202,593	11.2	△ 0.3
	地方債	176,088	9.7	220,582	12.1	204,436	11.3	172,594	9.5	162,042	9.0	△ 0.5
	繰越金	62,744	3.5	56,770	3.1	55,316	3.0	54,364	3.0	55,641	3.1	0.1
	その他	256,123	14.2	320,163	17.6	351,874	19.4	289,026	15.9	271,269	15.1	△ 0.8
	歳入合計	1,807,724	100.0	1,819,446	100.0	1,816,688	100.0	1,815,238	100.0	1,800,714	100.0	—
	全国	市町村税	17,822,288	34.4	17,239,738	33.7	17,231,954	34.0	17,667,049	35.0	18,160,960	36.8
歳入合計		51,796,561	100.0	51,195,752	100.0	50,650,037	100.0	50,478,606	100.0	49,361,930	100.0	—

- (注) 1 市町村税(全国)には、東京都が徴収した市町村税相当額は含まない。  
 2 構成割合の計は端数処理の関係で必ずしも一致しない。

1-1-2図 平成18年度市町村歳入の構成割合(千葉県)



次に税収割合を市町村別にみると1-1-3、4表のとおりである。これによれば、市部が高く(市平均51.6%)、町村部が低く(町村平均32.2%)なっている。

また、税収割合の高い団体、低い団体を見てみると、地域的には東葛飾、千葉、印旛、君津地域等人口の多い地域や大企業、工場等の立地する地域に高い団体が多く、安房地域等に低い団体が多く見受けられ、団体間に著しい格差が生じている。

1-1-3表 税収割合の高い団体，低い団体

	17年度(%)		18年度(%)	
税収割合の高い団体	袖ヶ浦市	67.6	袖ヶ浦市	68.1
	浦安市	61.6	浦安市	67.6
	君津市	60.9	君津市	64.0
	市川市	60.7	佐倉市	61.4
	佐倉市	60.4	市川市	60.3
	船橋市	59.5	市原市	60.3
	市原市	59.5	柏市	59.5
	柏市	58.5	富津市	58.6
	印西市	57.0	船橋市	58.4
	松戸市	56.0	松戸市	56.7
税収割合の低い団体	南房総市	16.7	南房総市	19.5
	睦沢町	19.3	鋸南町	21.6
	鋸南町	20.8	睦沢町	23.0
	大多喜町	21.7	大多喜町	23.5
	大横芝光町	22.6	いすみ市	24.9
	いすみ市	23.5	九十九里町	25.2
	匝瑳市	24.3	横芝光町	25.3
	旭市	25.2	旭市	25.3
	山武市	25.4	長南町	26.3
	九十九里町	25.9	印旛村	27.3
市計	50.2		51.6	
町村計	30.8		32.2	
県計	49.0		50.5	

1-1-4表 平成18年度税収入割合

(単位:千円, %)

市町村名	区分	平成18年度			前年度 割合 (D)	増減 C-D
		歳入総額 (A)	税収総額 (B)	B/A (C)		
1	千葉市	350,874,235	167,704,852	47.8	45.4	2.4
2	銚子市	22,341,611	8,011,454	35.9	27.9	8.0
3	市川市	118,324,320	71,334,548	60.3	60.7	△ 0.4
4	船橋市	147,935,027	86,333,891	58.4	59.5	△ 1.1
5	館山市	14,799,378	5,870,579	39.7	37.7	2.0
6	木更津市	31,354,515	15,726,196	50.2	50.0	0.2
7	松戸市	114,106,775	64,745,563	56.7	56.0	0.7
8	野田市	44,217,438	20,680,293	46.8	47.9	△ 1.1
9	茂原市	24,342,658	12,004,945	49.3	47.2	2.1
10	成田市	53,226,764	27,943,870	52.5	52.7	△ 0.2
11	佐倉市	38,545,110	23,677,274	61.4	60.4	1.0
12	東金市	16,919,066	7,319,536	43.3	41.8	1.5
13	旭市	25,816,494	6,525,670	25.3	25.2	0.1
14	習志野市	42,592,067	23,862,033	56.0	53.5	2.5
15	柏市	97,383,006	57,987,715	59.5	58.5	1.0
16	勝浦市	7,519,023	2,141,717	28.5	28.7	△ 0.2
17	市原市	82,661,132	49,865,694	60.3	59.5	0.8
18	流山市	35,635,730	20,092,103	56.4	50.3	6.1
19	八千代市	49,006,845	25,076,122	51.2	52.5	△ 1.3
20	我孫子市	31,379,597	17,170,869	54.7	52.3	2.4
21	鴨川市	15,255,484	4,244,160	27.8	28.0	△ 0.2
22	鎌ヶ谷市	25,728,164	12,172,163	47.3	46.2	1.1
23	君津市	29,515,366	18,895,721	64.0	60.9	3.1
24	富津市	15,759,422	9,236,018	58.6	54.4	4.2
25	浦安市	54,227,691	36,678,513	67.6	61.6	6.0
26	四街道市	25,777,795	10,425,234	40.4	46.6	△ 6.2
27	袖ヶ浦市	20,742,647	14,125,977	68.1	67.6	0.5
28	八街市	18,396,386	6,566,167	35.7	36.9	△ 1.2
29	印西市	20,588,094	11,188,973	54.3	57.0	△ 2.7
30	白井市	15,960,565	8,245,877	51.7	52.3	△ 0.6
31	富里市	12,939,355	5,848,045	45.2	45.0	0.2
32	南房総市	20,031,452	3,911,717	19.5	16.7	2.8
33	匝瑳市	13,480,815	3,692,368	27.4	24.3	3.1
34	香取市	27,375,704	8,492,388	31.0	29.2	1.8
35	山武市	20,576,087	5,612,469	27.3	25.4	1.9
36	いすみ市	14,763,447	3,672,190	24.9	23.5	1.4

(単位:千円, %)

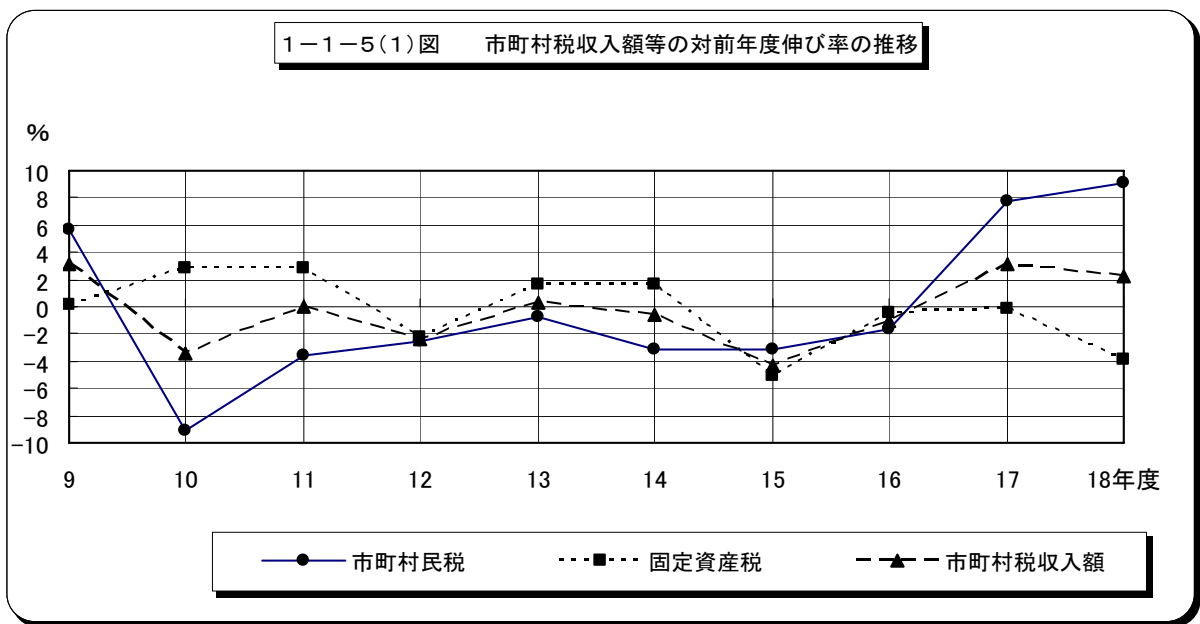
市町村名	区分	平成18年度			前年度 割合 (D)	増減 C-D
		歳入総額 (A)	税込総額 (B)	B/A (C)		
37	酒々井町	5,520,180	2,484,901	45.0	46.9	△ 1.9
38	印旛村	4,339,594	1,183,122	27.3	27.0	0.3
39	本埜村	3,266,950	918,100	28.1	27.4	0.7
40	栄町	6,215,010	2,626,022	42.3	43.4	△ 1.1
41	神崎町	2,447,626	734,154	30.0	30.3	△ 0.3
42	多古町	5,619,822	2,142,505	38.1	34.9	3.2
43	東庄町	4,718,169	1,320,564	28.0	27.1	0.9
44	大網白里町	13,074,347	4,704,601	36.0	32.6	3.4
45	九十九里町	5,878,810	1,478,725	25.2	25.9	△ 0.7
46	芝山町	5,444,187	2,290,456	42.1	43.5	△ 1.4
47	横芝光町	9,245,024	2,340,653	25.3	22.6	2.7
48	一宮町	3,778,210	1,260,387	33.4	30.5	2.9
49	睦沢町	3,282,595	754,194	23.0	19.3	3.7
50	長生村	4,257,430	1,593,139	37.4	30.7	6.7
51	白子町	3,923,210	1,254,280	32.0	31.3	0.7
52	長柄町	3,529,814	1,245,577	35.3	35.5	△ 0.2
53	長南町	4,695,705	1,234,667	26.3	29.1	△ 2.8
54	大多喜町	4,940,291	1,163,361	23.5	21.7	1.8
55	御宿町	3,001,895	956,934	31.9	28.6	3.3
56	鋸南町	3,435,817	741,082	21.6	20.8	0.8
	市計	1,700,099,265	877,082,904	51.6	50.2	1.4
	町村計	100,614,686	32,427,424	32.2	30.8	1.4
	県計	1,800,713,951	909,510,328	50.5	49.0	1.5

### (3) 税目別市町村税収入額の状況

税目別の収入額及び税収総額の前年度に対する伸び率は、1-1-5表及び1-1-5(1)～(3)図に示すとおりである。また、税収総額及び市町村民税と固定資産税の対前年度伸び率の推移は1-1-6表のとおりである。税収総額の伸び率は、この2つの税目の動向に大きく左右される。

#### ア 平成18年度の特徴

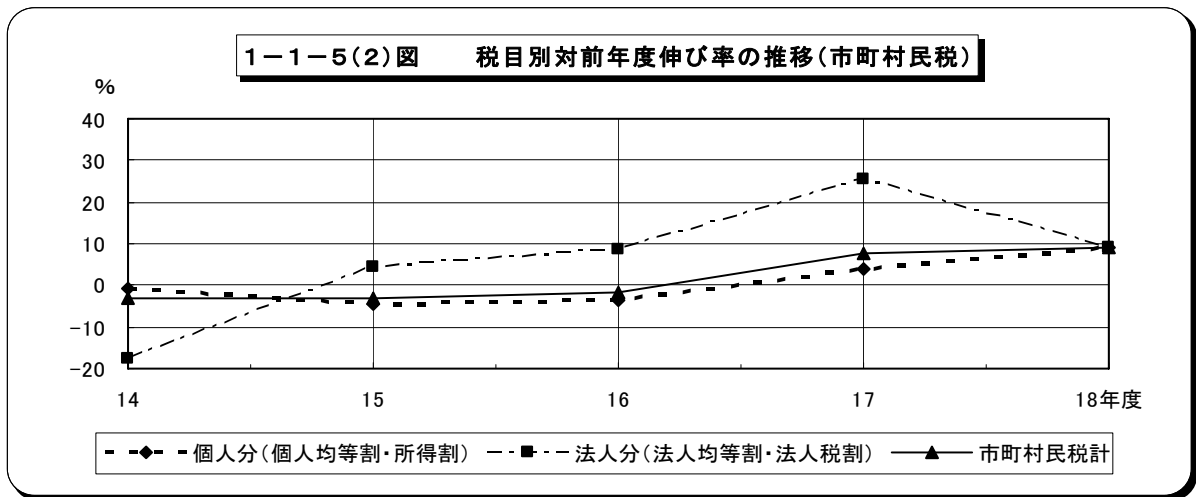
固定資産税が前年度と比較し3.9%の減収、市町村民税が9.1%の増収となったため、税収全体(国民健康保険税を除く)に占める市町村民税の割合は47.4%となり、固定資産税の40.7%との差が拡大している。



#### (ア) 市町村民税

個人分(個人均等割及び所得割)については定率減税の1/2縮減等の影響により約289億円の増収(9.2%の増)となり、法人分(法人均等割及び法人税割)については景気回復の影響等により約72億円の増収(9.0%の増)となった。その結果、市町村民税全体では約361億円の増収(9.1%の増)となった。

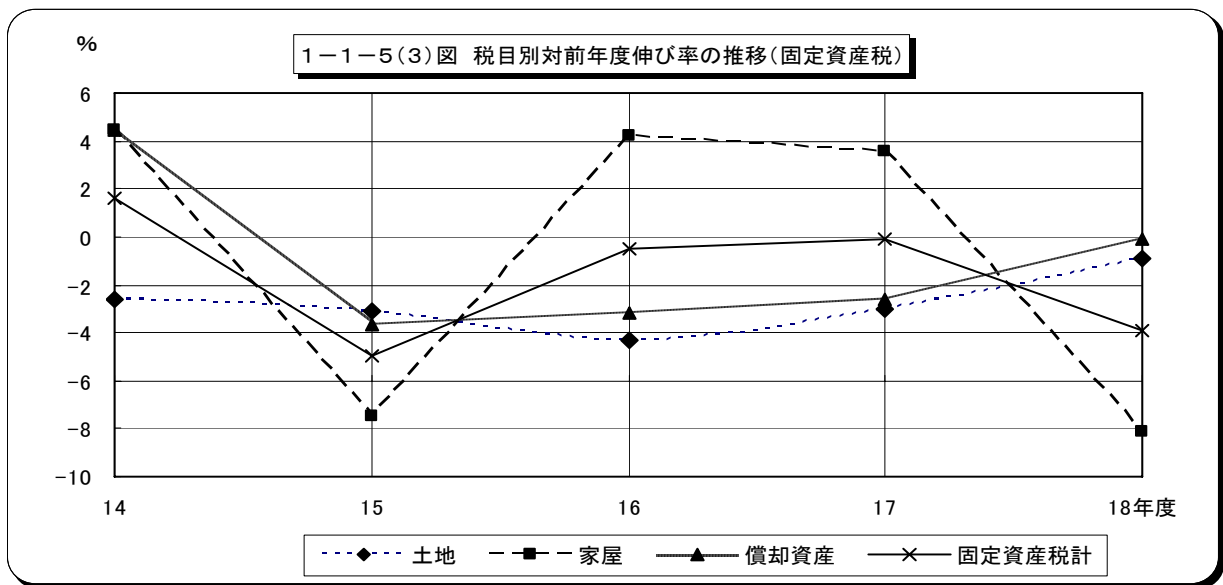




(イ) 固定資産税

平成18年度は、固定資産税の評価替えの行われた年度であり、土地については地価の下落の影響等により約12.8億円の減収(0.9%の減)となり、家屋については物価水準の下落の影響から在来分家屋の評価額が減少したこと等により約135.5億円の減収(8.1%の減)となった。また、償却資産については約4千万円の減収(0.1%の減)となった。

その結果、交付金も含めた固定資産税総額で約149億円の減収(3.9%の減)となった。



1-1-5表 市町村税決算額の推移(県計)

税目	14年度決算額		15年度決算額		16年度決算額	
		対前年度 伸 率		対前年度 伸 率		対前年度 伸 率
一 普通税	837,786,126	△ 0.8	803,688,778	△ 4.1	796,157,231	△ 0.9
1 法定普通税	837,786,126	△ 0.8	803,688,778	△ 4.1	796,157,231	△ 0.9
(1) 市町村民税	385,606,810	△ 3.1	373,325,435	△ 3.2	366,910,337	△ 1.7
(ア) 個人均等割	5,870,690	0.8	5,896,160	0.4	6,876,106	16.6
(イ) 所得割	322,947,983	△ 1.0	308,188,527	△ 4.6	295,739,718	△ 4.0
(ウ) 法人均等割	14,585,064	△ 1.0	14,795,974	1.4	14,982,508	1.3
(エ) 法人税割	42,203,073	△ 17.7	44,444,774	5.3	49,312,005	11.0
(2) 固定資産税	408,064,078	1.6	387,695,013	△ 5.0	385,608,984	△ 0.5
(ア) 純固定資産税	405,511,401	1.6	385,061,030	△ 5.0	382,576,655	△ 0.6
① 土地	154,109,678	△ 2.6	149,397,051	△ 3.1	142,961,164	△ 4.3
② 家屋	168,451,258	4.5	155,809,280	△ 7.5	162,344,868	4.2
③ 償却資産	82,950,465	4.4	79,854,699	△ 3.7	77,270,623	△ 3.2
(イ) 交納付金	2,552,677	△ 0.6	2,633,983	3.2	3,032,329	15.1
① 交付金					2,597,569	
② 納付金					434,760	
(3) 軽自動車税	4,337,667	4.7	4,540,772	4.7	4,765,183	4.9
(4) 市町村たばこ税	36,637,729	△ 1.4	37,372,632	2.0	38,042,537	1.8
(5) 鉱産税	64,007	△ 0.5	64,855	1.3	64,656	△ 0.3
(6) 特別土地保有税	3,075,835	△ 9.4	690,071	△ 77.6	765,534	10.9
(ア) 保有分	2,686,331	△ 10.5	596,552	△ 77.8	646,396	8.4
(イ) 取得分	389,504	△ 1.0	93,519	△ 76.0	119,138	27.4
(ウ) 遊休土地分						
2 法定外普通税						
二 目的税	72,821,501	0.6	67,732,404	△ 7.0	66,546,837	△ 1.8
1 法定目的税	72,821,501	0.6	67,732,404	△ 7.0	66,546,837	△ 1.8
(1) 入湯税	176,092	5.8	206,102	17.0	214,509	4.1
(2) 事業所税	10,955,223	4.2	9,369,688	△ 14.5	9,053,455	△ 3.4
(3) 都市計画税	61,690,186	0.0	58,156,614	△ 5.7	57,278,873	△ 1.5
(ア) 土地	35,024,314	△ 3.2	33,366,947	△ 4.7	31,543,296	△ 5.5
(イ) 家屋	26,665,872	4.5	24,789,667	△ 7.0	25,735,577	3.8
(4) 水利地益税						
(5) 共同施設税						
(6) 宅地開発税						
2 法定外目的税						
三 旧法による税						
合計(一～三)	910,607,627	△ 0.6	871,421,182	△ 4.3	862,704,068	△ 1.0
国民健康保険税	81,608,562	2.8	81,919,743	0.4	85,316,556	4.1
国民健康保険料	88,757,447	5.4	91,192,032	2.7	94,426,268	3.5
国民健康保険税・料合計	170,366,009	4.1	173,111,775	1.6	179,742,824	3.8

17年度決算額		18年度決算額		区分 税目
	対前年度 伸 率		対前年度 伸 率	
823,342,007	3.4	845,535,096	2.7	一 普通税
823,342,007	3.4	845,535,096	2.7	1 法定普通税
395,341,251	7.7	431,483,470	9.1	(1) 市町村民税
7,575,861	10.2	8,475,339	11.9	(ア) 個人均等割
307,046,798	3.8	335,038,720	9.1	(イ) 所得割
15,346,583	2.4	15,383,759	0.2	(ウ) 法人均等割
65,372,009	32.6	72,585,652	11.0	(工) 法人税割
385,198,040	△ 0.1	370,297,807	△ 3.9	(2) 固定資産税
382,152,509	△ 0.1	367,278,449	△ 3.9	(ア) 純固定資産税
138,701,187	△ 3.0	137,422,559	△ 0.9	① 土地
168,210,018	3.6	154,655,165	△ 8.1	② 家屋
75,241,304	△ 2.6	75,200,725	△ 0.1	③ 償却資産
3,045,531	0.4	3,019,358	△ 0.9	(イ) 交納付金
2,611,506	0.5	2,635,989	0.9	① 交付金
434,025	△ 0.2	383,369	△ 11.7	② 納付金
5,005,998	5.1	5,261,048	5.1	(3) 軽自動車税
37,263,618	△ 2.0	38,010,648	2.0	(4) 市町村たばこ税
66,949	3.5	67,234	0.4	(5) 鉱産税
466,151	△ 39.1	414,889	△ 11.0	(6) 特別土地保有税
442,017	△ 31.6	362,785	△ 17.9	(ア) 保有分
24,134	△ 79.7	52,104	115.9	(イ) 取得分
		0		(ウ) 遊休土地分
		0		2 法定外普通税
66,661,160	0.2	63,975,232	△ 4.0	二 目的税
66,661,160	0.2	63,975,232	△ 4.0	1 法定目的税
256,733	19.7	324,122	26.2	(1) 入湯税
9,208,779	1.7	9,267,315	0.6	(2) 事業所税
57,195,648	△ 0.1	54,383,795	△ 4.9	(3) 都市計画税
30,557,160	△ 3.1	29,927,138	△ 2.1	(ア) 土地
26,638,488	3.5	24,456,657	△ 8.2	(イ) 家屋
		0		(4) 水利地益税
		0		(5) 共同施設税
		0		(6) 宅地開発税
		0		2 法定外目的税
		0		三 旧法による税
890,003,167	3.2	909,510,328	2.2	合 計(一～三)
87,008,825	2.0	91,472,047	5.1	国民健康保険税
98,098,750	3.9	98,196,800	0.1	国民健康保険料
185,107,575	3.0	189,668,847	2.5	国民健康保険税・料合計

1-1-6表市町村税収入額等(県計)の対前年度伸び率の推移

年度	市町村民税		固定資産税		市町村税収入額	
	(千円)	対前年度 伸長率 (%)	(千円)	対前年度 伸長率 (%)	(千円)	対前年度 伸長率 (%)
平成18年度	431,483,470	9.1	370,297,807	△ 3.9	909,510,328	2.2
平成17年度	395,341,251	7.7	385,198,040	△ 0.1	890,003,167	3.2
平成16年度	366,910,337	△ 1.7	385,608,984	△ 0.5	862,704,068	△ 1.0
平成15年度	373,325,435	△ 3.2	387,695,013	△ 5.0	871,421,182	△ 4.3
平成14年度	385,606,810	△ 3.1	408,064,078	1.6	910,607,627	△ 0.6
平成13年度	397,893,864	△ 0.7	401,534,212	1.7	916,556,157	0.3
平成12年度	400,838,991	△ 2.6	394,738,430	△ 2.3	914,139,260	△ 2.4
平成11年度	411,501,431	△ 3.6	404,215,835	2.9	936,327,436	△ 0.0
平成10年度	426,945,407	△ 9.1	392,871,569	2.8	936,608,157	△ 3.4
平成9年度	469,919,706	5.7	381,995,792	0.2	969,843,477	3.2
平成8年度	444,701,405	△ 0.1	381,249,239	4.3	939,905,350	1.8
平成7年度	444,996,885	4.2	365,495,009	6.3	923,394,578	4.7
平成6年度	427,050,335	△ 12.5	343,994,418	8.1	881,930,831	△ 3.8
平成5年度	488,171,385	△ 3.2	318,148,312	7.3	916,393,216	1.2
平成4年度	504,307,052	3.6	296,450,626	10.9	905,317,287	6.2
平成3年度	486,751,251	6.5	267,260,499	9.8	852,412,028	7.8
平成2年度	457,046,951	8.0	243,410,872	5.4	790,413,597	7.0
平成元年度	423,050,573	12.3	230,914,220	8.4	738,974,480	7.2
昭和63年度	376,729,834	11.2	213,069,562	5.1	689,651,582	8.5
昭和62年度	338,904,567	14.7	202,765,554	6.2	635,545,364	9.9
昭和61年度	295,557,068	7.8	190,983,468	9.5	578,230,873	8.6
昭和60年度	274,099,330	12.3	174,347,649	8.8	532,460,473	10.2
昭和59年度	244,070,878	7.0	160,179,763	7.8	483,104,793	7.2

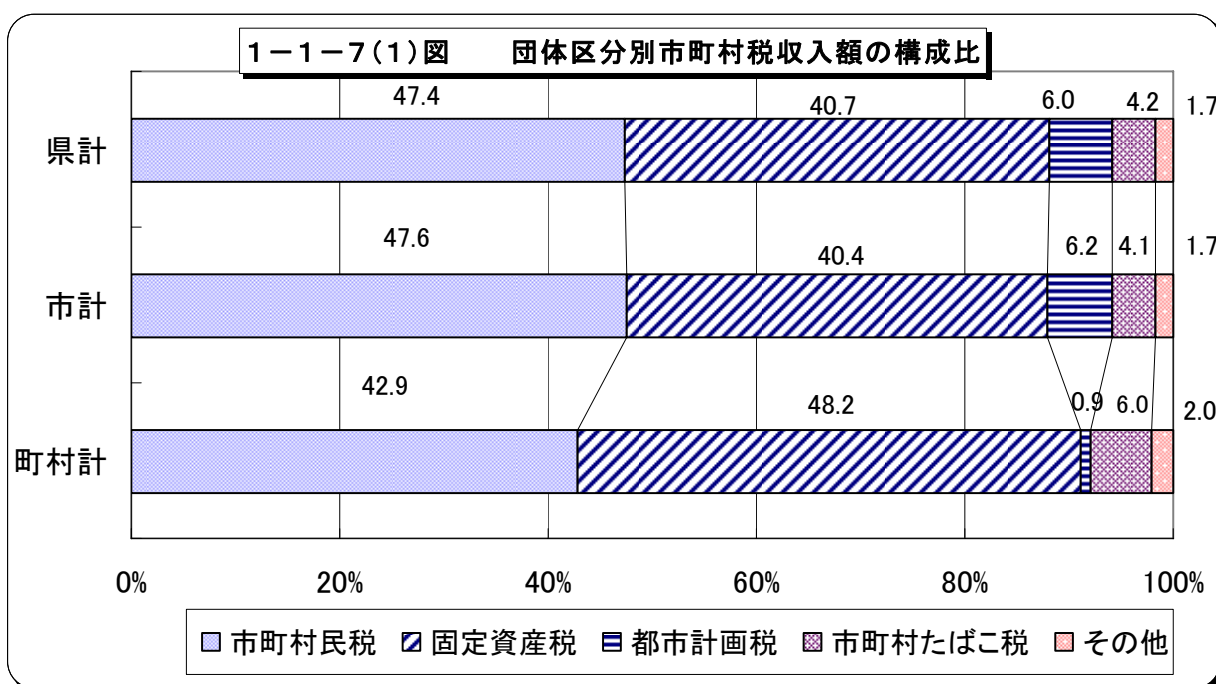
年度	市町村民税		固定資産税		市町村税収入額	
	(千円)	対前年度 伸長率 (%)	(千円)	対前年度 伸長率 (%)	(千円)	対前年度 伸長率 (%)
昭和58年度	228,010,027	9.9	148,531,819	10.7	450,662,831	9.5
昭和57年度	207,399,735	10.3	134,178,967	11.1	411,431,326	9.8
昭和56年度	187,952,286	14.6	120,814,498	6.4	374,825,679	11.1
昭和55年度	163,988,072	20.5	113,559,732	9.2	337,484,073	16.6
昭和54年度	136,141,073	19.2	103,982,950	13.4	289,337,175	14.5
昭和53年度	114,190,835	19.3	91,686,752	11.6	252,717,534	13.9
昭和52年度	95,696,645	16.9	82,139,158	13.6	221,921,223	17.1
昭和51年度	81,845,124	22.5	72,274,237	17.5	189,545,352	19.5
昭和50年度	66,823,675	△ 4.3	61,527,880	23.3	158,585,090	6.3
昭和49年度	69,856,363	44.8	49,891,498	19.7	149,231,671	37.0
昭和48年度	48,229,549	36.3	41,697,737	30.0	108,896,189	34.0
昭和47年度	35,375,713	37.2	32,086,184	25.3	81,289,961	28.1
昭和46年度	25,790,995	33.9	25,606,525	29.2	63,467,309	34.0
昭和45年度	19,267,870	35.5	19,819,583	21.3	47,369,140	20.7
昭和44年度	14,216,130	21.5	16,337,792	28.2	39,254,187	24.5
昭和43年度	11,698,727	23.6	12,745,753	22.6	31,533,006	21.8
昭和42年度	9,463,097	28.2	10,396,769	19.3	25,899,054	24.6
昭和41年度	7,379,078	9.9	8,714,194	12.6	20,784,981	12.6
昭和40年度	6,714,814	24.4	7,737,166	13.8	18,460,609	17.6
昭和39年度	5,396,924	24.5	6,797,681	25.3	15,701,607	23.9
昭和38年度	4,336,101	15.6	5,424,076	15.0	12,674,539	15.9
昭和37年度	3,749,365	43.2	4,715,734	25.3	10,937,486	30.5
昭和36年度	2,618,433	27.8	3,762,877	13.9	8,381,229	19.2

## イ 税目別構成割合

### (ア) 平成18年度決算における構成割合

平成18年度の県内市町村税収入額の税目別構成割合は、1-1-7(1)図のとおりである。これによると、市町村民税が47.4%と最も高く、次いで固定資産税の40.7%、都市計画税の6.0%、市町村たばこ税4.2%の順となっている。市町村税の基幹税目は市町村民税と固定資産税であり、この2つの税で税収総額の88.1%を占めている。

また、税目別構成割合を市と町村で比較すると、市町村民税は市(47.6%)が町村(42.9%)よりも高い比率を示しているが、固定資産税は町村(48.2%)が市(40.4%)よりも高い比率を示している。



### (イ) 税目別構成割合の推移

税目別構成割合の推移については、1-1-7表及び1-1-7(2)図のとおりである。市町村民税の構成割合は、平成2年度以降相対的に低下傾向にあったが、昨年度より上昇傾向にあり、平成18年度は前年比で3.0ポイント上昇し、47.4%となった。

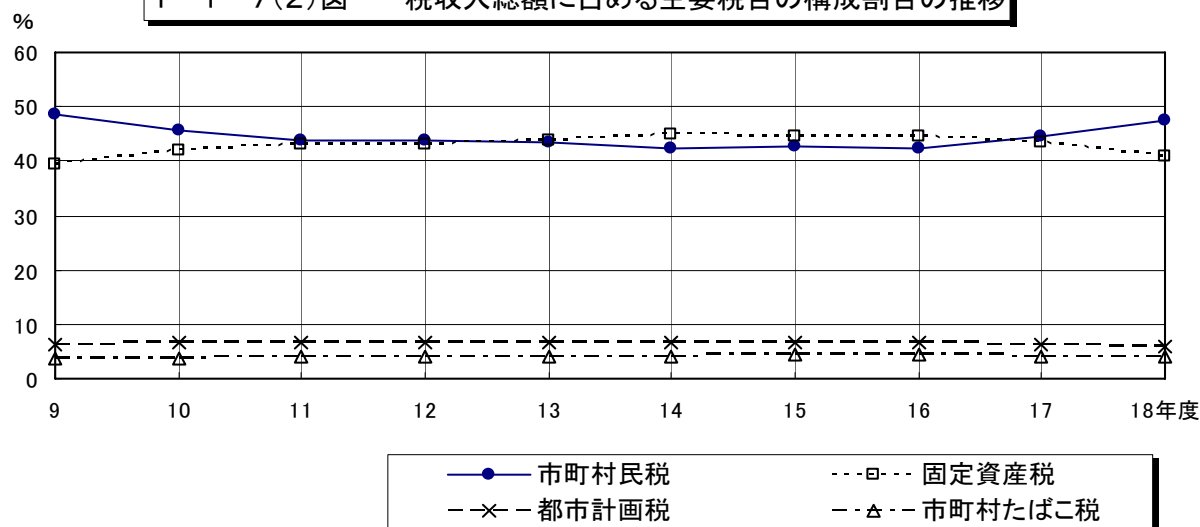
一方、固定資産税の構成割合は平成9年度から16年度までは相対的に上昇傾向にあったが、昨年度より低下傾向にあり、平成18年度は前年比で2.6ポイント低下し、40.7%となった。

1-1-7表 税収入総額に占める税目別構成割合の推移

(単位:%)

区分	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
市 町 村 民 税	48.5	45.6	43.9	43.8	43.4	42.3	42.8	42.5	44.4	47.4
個人	41.2	38.9	37.4	36.6	36.2	36.1	36.0	35.1	35.4	37.8
法人	7.2	6.7	6.5	7.2	7.2	6.2	6.8	7.5	9.1	9.7
固 定 資 産 税	39.4	41.9	43.2	43.2	43.8	44.8	44.5	44.7	43.3	40.7
純固定資産税	39.2	41.7	42.9	42.9	43.5	44.5	44.2	44.3	42.9	40.4
土地	15.5	16.5	16.9	17.4	17.3	16.9	17.1	16.6	15.6	15.1
家屋	15.2	16.5	17.4	16.7	17.6	18.5	17.9	18.8	18.9	17.0
償却資産	8.5	8.7	8.6	8.7	8.7	9.1	9.2	9.0	8.5	8.3
交付金	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3
都市計画税	6.2	6.6	6.8	6.7	6.7	6.8	6.7	6.6	6.4	6.0
市町村たばこ税	3.5	3.7	4.0	4.1	4.1	4.0	4.3	4.4	4.2	4.2
事業所税	1.1	1.1	1.1	1.2	1.1	1.2	1.1	1.0	1.0	1.0
特別土地保有税	1.0	0.6	0.5	0.5	0.4	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1
軽自動車税	0.4	0.4	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6

1-1-7(2)図 税収入総額に占める主要税目の構成割合の推移



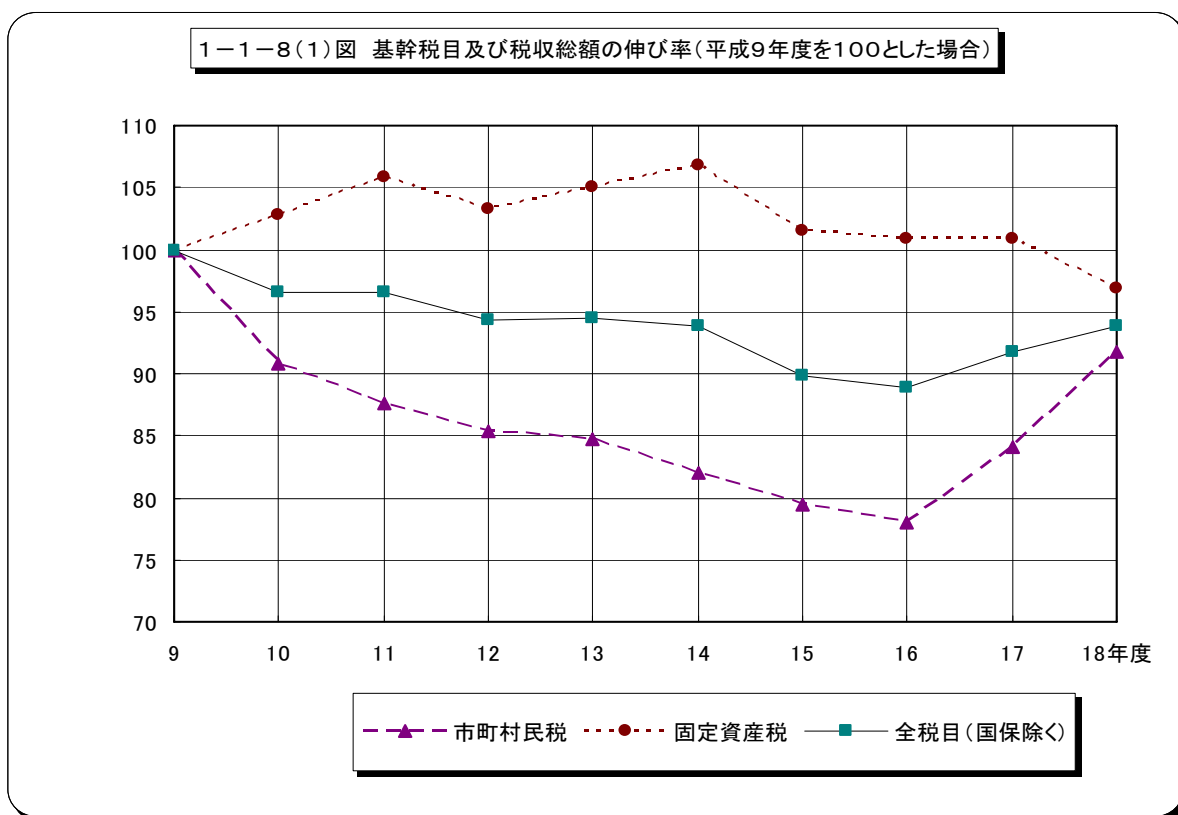
## ウ 税目別伸長状況

税目別伸び率を平成9年度における市町村税収入額を100とした指数で表すと、1-1-8(1)図のとおりである。

これによると、平成18年度は市町村民税、固定資産税及び全税目(国保を除く)において、平成9年度の指数を下回っている。

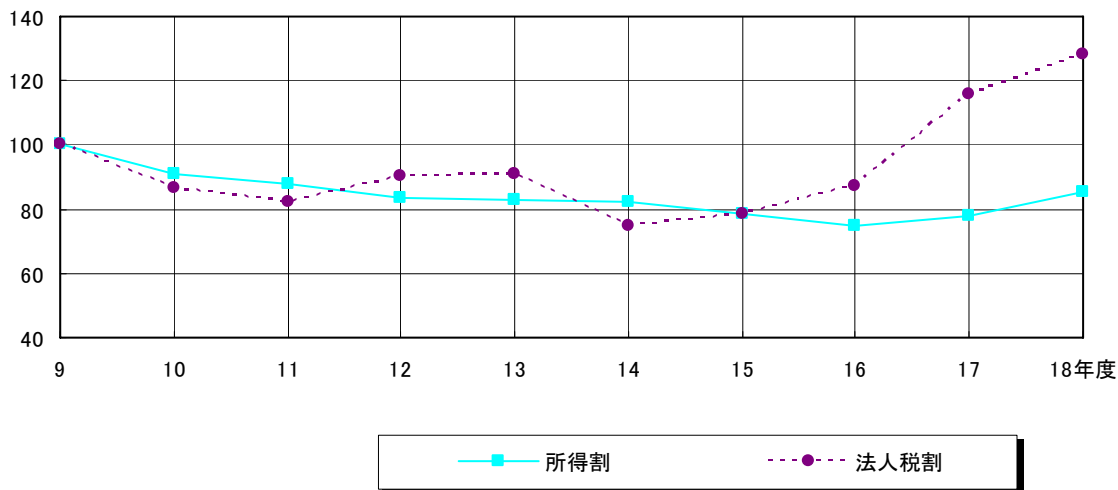
市町村民税、固定資産税の内訳は、1-1-8(2)、(3)図のとおりであり、市町村民税では景気変動の影響を受けやすい法人税割の変動が著しい。なお法人税割については、平成10年度の特別減税、平成11年度の恒久的な減税により法人税率が2度にわたり引き下げられた影響も見受けられるが、近年の企業収益の改善を受け、上昇傾向となっている。所得割については特別減税の影響が平成10年度において見受けられ、11年度から16年度までは恒久的な減税と長引く景気低迷による所得減少の影響が見受けられた。

また、固定資産税については、土地は堅調な伸びを示していたが、平成13年度から地価の下落や負担調整措置の影響等によりマイナスに転じた。一方、家屋は基本的には上り基調で推移しているものの、平成9年度、12年度、15年度及び18年度の評価替え年度は建築価格の下落の影響によりマイナスとなっている。償却資産については平成9年度をピークに景気低迷による設備投資の削減、法人のリストラクチャリング等により4年連続でマイナスとなっており、平成14年度はプラスに転じたものの平成15年度以降は再度マイナスとなっている。

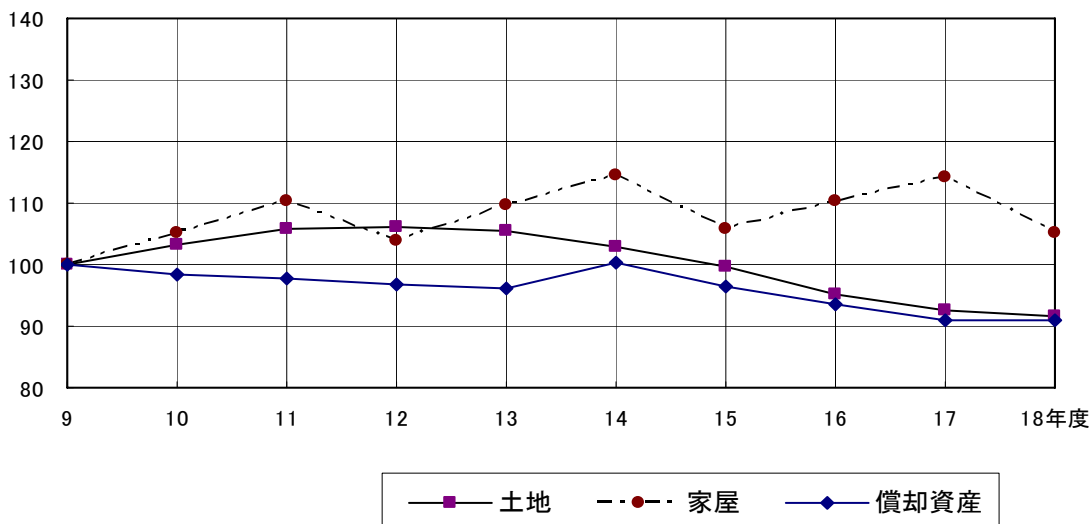




1-1-8(2)図 市町村民税の伸び率(平成9年度を100とした場合の数値)



1-1-8(3)図 固定資産税の伸び率(平成9年度を100とした場合の数値)



(4) 税源拡充の状況

ア 超過課税の状況

平成18年度は24市が法人市町村民税について超過課税を実施している。内訳は、法人均等割4市、法人税割24市となっている。

超過課税における増収額及び近年の推移は、1-1-9表及び1-1-9図のとおりで、平成18年度は総額で93億円となっており、前年度と比較して10億57百万円(12.9%)増加している。

イ 法定外税の状況

法定外普通税については、昭和45年度から平成11年度まで君津市、富津市において「山砂利採取税」を課税していたが、平成12年度以降においては県内で法定外普通税を課税している団体はない。

また、平成12年4月に創設された法定外目的税についても、これまで県内で課税している団体はない。

1-1-9表 法人市町村民税の超過課税による増収額

(単位:百万円, %)

年度	超過課税による増収額			法人市町村民税の収入額 B	A/B
	法人均等割	法人税割	計 A		
12	150	5,747	5,897	65,896	8.9
13	153	5,482	5,635	65,996	8.5
14	147	4,732	4,879	56,788	8.6
15	158	4,859	5,017	59,240	8.5
16	166	5,439	5,605	64,295	8.7
17	179	8,021	8,200	80,719	10.2
18	171	9,086	9,257	87,969	10.5

